

【基本情報】

教科	外国語	学年	1年	教科書	My Way English Communication I (三省堂)
科目	コミュニケーション英語 I	単位数 (年間予定コマ数)	3 (96)	副教材	英単語 STOCK 3000 (文英堂)
科目概要	中学校3カ年で学んだことを基礎にして聞く・話す・読む・書くといった言語活動を多様な場面において経験させながら、中学校および高等学校における学習内容を何度も繰り返しながら指導し、定着させていく。(副教材を使用しながら定期的に単語・熟語テストを実施)				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書で新しく学ぶ単語・熟語400語(句)を理解する。(語彙力) ・基本的な英文を理解して習熟し、活用できるようにする。(英文力) ・英語で自分の考え・意見を論理的に、話したり、書いたりすることができる。(英語での表現力) ・多様な英文を決められた時間内で概要把握ができる。(速読力) ・ややゆっくりした速度の英文を聞き、大まかな内容を理解することができる。(リスニング力) 				
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを使用しながら授業を進めていく。 ・英語を読む・聞く・書く・話すという4技能のバランスを考えた授業展開を行う。 ・ペア・グループワークによる活動場面を多く取り入れ、自己表現をしていく。 ・音読の練習を積極的に取り入れ、英語の音声に慣れさせていく。 				
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書・ファイル(ワークシートを保存)・英和辞典をいつも用意しておくこと。 ・評価は4回の定期考査(中間・期末)・夏季・冬季休業明けの確認テスト・単語テスト・授業中のペアワーク・グループワークへの取り組み状況を基にして評価する。 ・定期考査では10~20点の割合でリスニング問題を出題することもある。 ・授業内でわからないことや疑問に思うことがあるときはその日のうちに質問し解決しておく。 				
家庭学習	<ul style="list-style-type: none"> ・指示された課題は確実にこなし、復習に力を入れていく。 ・音声CD, スマートフォン等のアプリを活用して、単語学習に毎日一定時間取り組むこと。 				
備考	英語検定等の資格試験も積極的に活用し、各自の英語力向上に役立てていくこと				

【評価の方法】

観 点	ポイント	割 合	評価項目
A. コミュニケーションへの関心・意欲・態度	・ペアワーク・グループワーク等言語活動に積極的に取り組んでいるか。	10%	<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動の積極的な取り組み ・教師の発問に対して積極的に発言しようとする態度
B. 外国語表現の能力	・各レッスンの内容についての感想や日常的な話題について簡単な英語で表現することができるか。	25%	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の提出・発表 ・教科書課後のコミュニケーション活動の取り組み ・インタビュー/音読テスト
C. 外国語理解の能力	<ul style="list-style-type: none"> ・英文を聞き大まかな内容が理解できるか。 ・英文を読み、その要点を理解することができるか。 	35%	<ul style="list-style-type: none"> ・リスニングテスト ・筆記テスト(内容把握) ・ワークシート
D. 言語や文化についての知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の学習を通して各課で取り上げられている話題の背景知識・内容を理解できるか。 ・文化が異なる人々の考え方を理解できるか。 	30%	<ul style="list-style-type: none"> ・筆記テスト(総合問題) ・ワークシート ・単語テスト

【年間学習計画】								
課	単元	配 当 時 数	学習の内容	観点別評価				到達目標（何ができるようになるか）
				A	B	C	D	
Starter		1	・高等学校での学習を進める上で必要な、中学既習の文法事項を復習する。	○		○		・高校英語の学習に必要な、既習事項を理解できる。
L1	A Story about Names	8	・姓名の順、姓の成り立ち、姓のない国など、名前をめぐる世界の状況について学ぶ。	○	○	○	○	・各国における名前をめぐる事情の違い、名前と文化の関係について理解し、それに関する意見を表現し、意見交換をすることができる。
L2	Messages from Yanase Takashi	8	・やなせたかしさんがアンパンマンを通して私たちに残したメッセージを通じて、平和について考える。	○	○	○	○	・真のヒーロー像、平和、幸福について理解、考察をし、それに関する意見を表現し、意見交換をすることができる。
文法のまとめ1		1	・英語と日本語の語順の違いを意識する。	○		○		・英語と日本語との語順の違いを理解できる。
VOCABULARY BUILDING 1		1	・品詞の区別を意識する。					・同じ単語でも複数の品詞があることを理解できる。
<前期中間考査>この考査までの時数：		19						
L3	Purposes of the Olympics	8	・オリンピックの歴史（古代・近代）とオリンピックの問題点、その意義について学ぶ。	○	○	○	○	オリンピックの歴史（古代・近代）とオリンピックの問題点、その意義について理解し、それに関する意見を表現し、意見交換をすることができる。
VOCABULARY BUILDING 2		1	・動詞の基本イメージについて学ぶ。	○		○	○	・動詞の核となる意味に気づかせる。
L4	Hospital Art	8	・病院に設置されている芸術作品から、人々を癒すことができる芸術の力を学ぶ。	○		○	○	病院に設置されている芸術作品から、人々を癒すことができる芸術の力を理解し、それに関する意見を表現し、意見交換をすることができる。
文法のまとめ2		1	・過去分詞を使った文法事項を整理する。	○		○		・過去分詞を使ったそれぞれの表現の共通点と違いを意識し、英文の理解や表現に活用をすることができる。
<前期期末考査>この考査までの時数：		18						
L5	Writing Systems in the World	8	・世界のさまざまな文字やその成り立ち、書き方について学ぶ。	○	○	○	○	・世界の言語や文字についての認識を深め、文字を持つ言語と持たない言語の違いについて理解し、それに関する意見を表現し、意見交換をすることができる。
	[option]A New Style of Calligraphy	1	・「英漢字」について学び、新しい芸術のあり方を考える。	○		○		・英語と漢字を組み合わせた書道のあり方に興味を持てるようにする。
L6	Washoku	8	・無形文化遺産に登録された和食の特徴について、食文化を守る取り組みについて考える。	○	○	○	○	・和食の特徴についての説明文を的確に読み取らせる。 ・食の進化と伝統について、考えさせる。
	Hangi in New Zealand	1	・ユニークな調理法があることを学ぶ。	○		○		調理方法を的確に読み取らせる。
文法のまとめ3		1	・toを使った表現を整理する。	○		○		・toを使ったそれぞれの表現の共通点と相違点に関して、英文の理解や表現に活用をすることができる。
VOCABULARY BUILDING 3		1	・接頭辞について学ぶ。	○		○	○	・接頭辞の働きを十分に認識させる。
L7	From Landmines to Herbs	8	・地雷跡地に作られたハーブ畑で、ハーブ製品を作り、ビジネスを始めた篠田ちひろさんの活動について学ぶ。	○	○	○	○	・地雷問題とその跡地活用についての認識を深め、ビジネスを通じての社会貢献について理解し、それに関する意見を表現し、意見交換をすることができる。
	[option]Removing Landmines	1	・地雷除去のさまざまな方法について学ぶ。	○		○		・地雷探知犬と、日本の技術活用についての認識を深める。
VOCABULARY BUILDING 4		1	・接尾辞について学ぶ。					・接尾辞の働きを十分に認識させる。
<後期中間考査>この考査までの時数：		30						
L8	A Mysterious Object from the Past	8	・古代の遺物を通じて、人類の文明について考える。	○	○	○	○	・未知の物体への興味を持ち、文明の発達について理解し、それに関する意見を表現し、意見交換をすることができる。
文法のまとめ4		1	・～ingを使った表現を整理する。	○		○		・～ingを使ったそれぞれの表現の共通点と違いを意識することができる。
L9	Sesame Street	8	・セサミストリートを通じて、平等と多様性や各国が抱えている諸状況について学ぶ。	○	○	○	○	・平等や多様性という概念を理解し、各国が抱えている諸状況について認識をし、それに関する意見を表現し、意見交換をすることができる。
	[option]Our Hero, Doraemon	1	・世界におけるドラえものの展開の広がり学ぶ。	○		○		・なぜドラえもんが世界各国で人気があるのかを考えさせる。
L10	Heritages of Beatrix Potter	8	・ビアトリクス・ポターの生き方を学び、環境保護について考える。	○	○	○	○	・ポターの湖水地方への思いを的確に理解をし、環境保護のために自分にできることを考察し、それに関する意見を表現し、意見交換をすることができる。